

- 被ばくとは関係なく、日本人が一生の間に甲状腺がんになる確率は
  - 女性で0.78%、男性で0.28%

(Kamo et al., (2008) Jpan.J. Clin Oncol 38(8))
- 甲状腺への線量が1,000ミリシーベルトの場合、甲状腺がんになる確率の増分は
  - 女性で0.58~1.39%、男性で0.18~0.34%

(UNSCEAR2006年報告書附属書A)

1,000ミリシーベルトの甲状腺被ばくを受けた日本人が一生の間に甲状腺がんになる確率は（放射線以外の要因による発症の確率を加算）

- 女性  $0.78 + (0.58 \sim 1.39) = 1.36 \sim 2.17\%$
- 男性  $0.28 + (0.18 \sim 0.34) = 0.46 \sim 0.62\%$

(Kamo et al., (2008) Jpan.J. Clin Oncol 38(8) + UNSCEAR2006年報告書附属書A)

しかし、低線量の甲状腺被ばくにおいては、他の要因による発がんの影響で隠れてしまうため、リスクの増加を科学的に証明することは難しいとされています。